

# 事業所における自己評価結果

記入年月日： 6年3月4日

公表：令和6年3月22日

事業所名 児童発達支援センター カトリア

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども職員も多い</li> <li>・1クラス11人は多い</li> <li>・せまい</li> <li>・人が刺激となり、多いと感じることがある</li> <li>・遊戯室を区切れると過ごす場所が増えるかと思う</li> <li>・クローバーや遊戯室を利用し、なるべく少人数で刺激を減らしている</li> <li>※定員数や職員配置については、令和6年度・令和7年度にかけて調整をしながら、子どもにとっても職員にとっても良い形を模索していきます。</li> </ul>
	2	職員の配置数は適切である	10	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が欠席の場合、不十分であるため</li> <li>・少ない</li> <li>・まだ改善の余地がある</li> <li>・マンツーマン対応の時は難しい 連携をしっかりとっていく</li> <li>・少人数で過ごし刺激を減らしているため、人手が足りなくなるときがある</li> <li>※フリーの職員を増員し、カトリア全体の職員体制や子どもの状況に合わせて適切な配置ができるように動めていきます。</li> </ul>
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	14	1	2	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	16		1	
業務改善	5	職員の業務改善を進めるための会議や話し合いに、多くの職員が参画している	16		1	・意見をしっかりと発言をしている環境がある
	6	保護者等向け評価表を配布し、保護者等の意向等を把握し、園全体で業務の改善を考えている	17			
	7	事業所向け自己評価表や保護者向け評価表の結果をまとめ、業務内容の改善や保護者等への回答を加筆し、事業所の会報やホームページ等で公開している	17			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	17			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会(外部、内部問わず)を確保している	15		2	・もっとあると良い
適切な支援の提供	10	面談時期にアセスメント表を配布し、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	17			
	11	子どもの状況を把握するために、園内共通のアセスメントシートを使用している	16		1	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	17			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	17			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	16		1	・なるべく同じ活動を月単位で繰り返し、フィードバックしていく
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	16	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも工夫したい</li> <li>・新しい物を取り入れるように心がけているが、どうしても同じ活動になってしまう</li> </ul>
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、クラス担任や児童発達支援管理責任者とともに児童発達支援計画を作成している	17			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	16		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけしていますが、パートの勤務時間内に行うことは難しいのが現状</li> <li>・パート職員にも伝えているが、ねらい等丁寧な確認が必要</li> <li>・何日か前から深めていけるように時間をつくる</li> <li>※令和6年度よりパート職員の勤務時間を変更し、療育後に毎日情報共有の時間を設けました。</li> </ul>
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	15		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけしていますが、パートの勤務時間内に行うことは難しいのが現状</li> <li>・毎日パート職員との振り返りの時間をとることはなかなか難しい</li> <li>※令和6年度よりパート職員の勤務時間を変更し、療育後に毎日情報共有の時間を設けました。</li> </ul>
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	16	1		・一人で書いてしまうことも多いため、共有する時間を作っていく
20	定期的(面談時など)にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを担当中心にしている	16		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画途中での練り直しが必要</li> <li>・リーダー中心に実施できている</li> </ul>	
	21	障害児相談支援事業所の相談員とともに、担任や児童発達支援管理責任者が、子どものモニタリングをしたり、子どもの状況を話し合っている(サービス担当者会議)	17			
	22	市役所の関係部署(女性子ども課、健康推進課)や関係機関と連携した支援を園として行っている	16		1	・保健師と話し合う機会がない

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	非該当				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	非該当				
	25	卒園する子どもの支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校との間で、引継ぎをし、相互理解を図っている	16		1		・継続したフォローをして、より細かく対応できると良いと思う
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、交流をはかっている	15			2	
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があ	12			5	・保育園希望以外の子の機会もあるとよいかと思う
	28	園の代表者が自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ参加している	17				
	29	日頃から子どもの状況を電話や連絡帳などで保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つようつとめている	17				
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して研修や勉強会を開催している。研修の中で家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)を行ったり、子どもへの理解の促進や対応の工夫を伝えたりしている。	17				
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について、契約時に児童発達管理責任者から丁寧な説明を行っている	15			2	・初めてカトレアに通う方には分からないこともあるが、職員にとっては慣れて当たり前になっていることも多いのでは？と感じた。自分も気付けたいと思う。 ・(対応はしていると思うが)必要な時には再度説明した方がいい ※職員に向けた説明や研修も行いながら、都度丁寧に説明できるようにしていきます。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	17				
	33	面談時や申し出があった際に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	17				
	34	保護者会の活動を支援したり、保護者が参加する研修や茶話会を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	17				
	35	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	16			1	・保護者の、少し気になる点や大きなできごとに対し、どう捉え考えていかを共有できるとよいと思う
	36	定期的に月の通信や広報誌や年間行事予定を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	17				
	37	個人情報の取扱いに十分注意している	16			1	
	38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	17				
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	17				・増やしていければ良いと思う
	非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	11	4	2	・実際に起きた場合には対応できないことが予想されるため ・不審者訓練、バス乗車時の緊急時に不安がある ・避難訓練は実施しているが、防犯・感染症等の訓練は未実施 ※さまざまな訓練や緊急時対応の研修を令和6年度計画しています。通常の療育と並行で行うため、無理のない形で行っていきたくと考えています。
41		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	16		1	・救出に対応できるほどには達していないため ※市とも協議しながら、備蓄品を増やすことや発生時の職員の動き方などを見直していきたいと考えています。	
42		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	16		1	・対象児がクラスにいない場合には確認できていないため ※クラス担任だけでなく、ひろく周知できるよう情報共有を進めていきます。一方で個人情報の観点からも、共有すべき情報とそうでないものを精査していきます。	
43		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	17				
44		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	17				
45		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	17				
46		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	17				

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

		項目ごとに1つずつ ○をおつけください				
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	1		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	30	2	1	・先生の人数が足りないような気がする。 ・特性に合わせて人員が増やしてもらえると心強いです。 ※令和7年度は職員配置と子どもの人数を調整し、より手厚く支援が行える体制になっています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※1 になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	32	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28	4	1	・保護者が入室する部屋の書類等を、片づけてほしい。 ※順次対応していきます。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※2 が作成されているか	32	1		
	6	児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30	3		・支援計画を子どもに合わせて作ってくれています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	29	3	1	・療育中の活動を見ることはできていないので、分からない部分もある。 ※令和7年度は月1回程度保護者の方にお子さんの様子をお伝えする面談を行い、より日常の様子を知っていただく機会を設けていきます。
	8	活動プログラム※3 が固定化しないよう工夫されているか	33			・毎日子どもが楽しみつつ成長できるような内容でありたい。 ・園外へのお散歩があるといいと思う。 ・別のクラスの活動が、自分のクラスにはないのかと残念に思うことがある。※クラスごとでお子さんの興味関心や取り組む課題にあわせて活動を設定しています。保護者の方のご希望などがあれば随時園までお伝えいただければと思います。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会が設けられているか(地域交流イベント、交流保育など)	28	3	1	・参加できていないが、楽しそうな企画がたくさんある。 ・交流の場がもっと増えるといいと思う。 ※保育園の園開放や体験入園にも積極的に参加していただけるよう、情報提供を行っています。
保護者 への 説明等	10	契約時に重要事項説明書や契約書を確認しながら、運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32	1		
	11	保護者との面談をもとに作成された児童発達支援計画について、支援内容の説明がなされたか	33			
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※4 等)が行われているか(参加の有無は問わない)	29	2	1	・研修会がためになりました。 ・実践的な支援の方法を学べるといいと思う。 ・支援ツールの作成研修に参加したい。 ・コミック会話の研修を受けてみたい。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	29	4		・もう少し子どもの様子を教えてほしいと思う時がある。 ・連絡帳でのやりとりがありがたい。記入欄がもう少し大きいと書きやすく、見やすい。※令和7年度はHUGの導入により、紙面でのおたより帳はありませんが、月1回程度保護者の方にお子さんの様子をお伝えする面談を行い、より日常の様子を知っていただく機会を設けていきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	32	1		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	31	2		

保護者への説明等	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	31	1	1	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	2		無回答1
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	32	1		・ビジエネでの再確認連絡が助かる。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	26	3	2	・サポートブックの所在不明、プロフィールの原本紛失があったと聞く。特に慎重に取り扱ってほしいです。 ※サポートブックに関しては、管理場所が広く周知されていなかったため、周知をおこないました。プロフィールに関しては、提出物のダブルチェックを行い、再発防止の対策をとっております。
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	28	1		3 無回答1
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	31	1		・子どもの様子を含め、説明がほしい。 ※担任までお問い合わせいただければ、それぞれのお子さんの様子をお伝えしています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	29	2	1	1 ・土日も行きたがっています。 ・行くまでは嫌がることもあるが、行くと楽しんでます。
	23	事業所の支援に満足しているか	31	2		・支援自体は満足している。 ・職員のスキルアップを目指してほしい。 ※令和7年度は13時降園後に職員研修をおこなう機会を増やし、スキルアップに努めてまいります。
自由意見	24	<p>・子どもたちのために様々な工夫がや対応をしてくれていて、感謝している。</p> <p>・先生たちの慌ただしさ、忙しさが見受けられ、大変そうと思うことから、声かけの難しさがあります。連絡帳のやりとりでは、書ききれないと思うので、困ったこと、聞きたいことをやりとりするツールがあるとよいと思う。→HUGの導入、月1回程度の面談を実施していきます。</p> <p>・親子通園時(6月)のお弁当持参について、食中毒が怖いので、別の時期もしくは給食だと安心です。→親子通園日は4月と3月に予定しています。親子で給食を食べるか、お弁当持参かなどは、今後決定していきます。</p> <p>・入園前は、「うちの子、そんなにだめなの?」と思っていたが、英才教育を受けさせてもらっているくらいの気持ちになりました。</p> <p>・色々な特性のある子たちの中で、わが子も成長できていると思います。</p> <p>・先生たちには、感謝しています。</p> <p>・アプリ等を活用して、普段の様子を写真で見られるといいなと思います。</p> <p>・先生たちが親身になって相談に乗ってくれることが心強いです。</p> <p>・支援のプログラムに沿った人員配置を希望します。→令和7年度は、人員配置を変更し、より手厚く支援をおこなえるよう努めてまいります。</p> <p>・実績表にミスがあり申し出たところ、当月中の修正に間に合わないと言われた。当月中に間に合わないのであればその旨を明記するか、配布の時期を早めるな</p>				

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、『いつ・どこで・何をするのか』わかりやすいように、机や本棚の配置を工夫したり、写真やマーク、スケジュールを示したりして、子ども本人にわかりやすい環境のことです。

※2「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、能力や、生活環境、日常生活全般に関するアセスメントを通じて、子どもの課題、支援の具体的内容、支援の時期などを記載する計画のことです。これは、主に個人面談で保護者と担任が課題を話し合い、担任や児童発達支援管理責任者が作成します。

※3「活動プログラム」は、毎月配布する月の予定でお知らせしています。事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※4「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。具体的には保護者向け研修会、囑託医や言語聴覚士による研修会などをさします。